

# 小学校教科等研修講座（社会科）

教科等指導員 瑞穂小学校 教諭 藤原 和人

担当指導主事 時村 孝完

キーワード：社会科授業づくり 資料の加工 活用方法 習得させたい説明的知識 資料を活用した思考 目標と授業仮説の解説

## 1 実施概要

実施月日	講師等	場所・形態	演題（またはテーマ）
2月14日（木）	有岡小学校 坂上 元康 教諭 兵庫教育大学 副学長 米田 豊 氏	有岡小学校 有っ子ホール・公開授 業および講座	「社会科指導案から見た社会科の授業づくり～本日の指導案、授業をふりかえって」

## 2 主な内容

### (1) 単元目標の明確化及び知識構造図と単元構造図の解説

本単元では、伊丹の行基を取りあげた。本市には、行基の功績である昆陽池・昆陽寺が現存しているため、児童に興味を持たせるきっかけになると考えた。

「社会的な思考判断表現」の観点では、伊丹の行基と教科書に記載されている浜口梧陵を比較関連させることで、児童に説明的知識が得られたかの検証を行った。

「社会的事象についての知識理解」の観点については、指導案の「9知識の構造図」から習得させたい記述的知識について解説した。また、地域の先人の様々な工夫や尽力（①昆陽池の古代の利用目的 ②現在の利用目的 ③他地域例として浜口梧陵の働き）を比較し、共通点をつかませるまでの学習の流れや、浜口梧陵の働きから防災教育としての教材の価値について協議を行った。



### (2) 資料の加工と資料活用についての解説と意見交流

① 農業用水を確保した理由に気づかせるため、検証する資料として「昆陽井昆陽池付近の水路図」を提示した。

② 昆陽池が造られた目的である「洪水の防止」に気づかせるため、「伊丹積層地図模型」を用いた実験検証を行った。

### (3) 本時の目標と授業仮説について説明と討議

授業仮説についての討議では、公開授業を通して、①資料での検証から児童が昆陽池からの水路の広がり気づき、灌漑用水としての昆陽池の役目に気づくことができたか、②昆陽池陥没帯の模型に水を流す実験検証から、洪水を防止する昆陽池の役目に気づくことができたかの2点について協議を行った。

## 3 成果と課題

### (1) 成果

今回用いた資料・実験検証・映像資料についての協議を行うことで、参加者が自己の授業改善の必要性について考えることができた。

### (2) 課題

① 資料の工夫や実験検証のあり方、映像資料の活用の工夫等について、今後も研究を進めていく必要がある。

② 次期学習指導要領で求めている内容に準じて指導案を作成していく必要がある。